

財団法人アイヌ民族博物館 略歴及び概要



2010

アイヌ民族博物館略歴及び概要

●財団の概要

名 称	財団法人 アイヌ民族博物館
所 在 地	〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2丁目3番4号 電話番号 0144-82-3914 (代表) ファックス 0144-82-3685
Eメール	museum@ainu-museum.or.jp
ホームページ	http://www.ainu-museum.or.jp
設 立	昭和51年9月
認 可	北海道教育委員会 (51教総第4078号指令)
基本財産	6,750万円 (2010年3月現在)
敷地面積	20,265 m ² (白老町設置に係る都市公園)
代 表 者	理事長 野本勝信
職 員 数	正 職 員 26名 定期職員 3名 臨時職員 15名 特別職 1名 計 45名

●財団の沿革

- ・昭和40年5月、それまで白老市街地にあった観光地「白老コタン」をポロト湖畔（現在地）に移転し、「白老観光コンサルタント株式会社」が運営主体となり、「ポロトコタン」として営業を開始する。
- ・昭和42年6月、ポロトコタン内に白老町立による「白老民俗資料館」がオープンする。
- ・昭和51年9月、白老観光コンサルタント株式会社を発展的に解散させ、「財団法人白老民族文化伝承保存財団」を設立する。
- ・昭和59年1月、白老アイヌに伝わるアイヌ古式舞踊が国の重要無形民俗文化財に指定され、当財団において伝承公開する。
- ・昭和59年4月、民族資料常設展示施設として「アイヌ民族博物館」（新館）を開館。
- ・昭和59年7月、博物館法による登録博物館となる。「設立の目的」及び「基本的性格」は下記の通りである。

設立の目的

アイヌ民族に関する有形・無形の資料を専門に展示・保存し、さらに調査研究、教育普及事業を総合的に行う社会教育施設として、白老町民はもとより、広域の人々の利用に供し、もって学術及び文化の発展に寄与することを目的とする。

基本的性格

- ・アイヌ文化（有形・無形）の伝承と保存を行う。
 - ・アイヌ文化の学術的研究と教育研究を行う。
 - ・アイヌ文化の多面的普及事業を行う。
 - ・アイヌ文化に関する総合情報センターとして、各種多層にわたる来館者へ対応を行う。
 - ・管理・運営の主体が非営利の公益法人であることから、各事業に必要な最低限の収益を確保し、その範囲内での運営を図る。
 - ・アイヌ文化だけを総合的に扱う博物館とする。ただし、アイヌ文化との関連のもとで必要に応じ他の民族文化もその対象とする。
-
- ・平成2年3月、法人名を現在の「財団法人アイヌ民族博物館」と改称する。
 - ・平成14年3月、北海道が設置した「アイヌ文化振興等施策推進北海道会議」が中核イオル適地に白老を選定する。
 - ・平成17年4月、白老民俗資料館及び町所有民俗文化財が委譲される。

●博物館の概要

博物館設置	昭和59年4月2日
博物館法による登録	昭和59年7月20日（北博登第30号）
建物構造	鉄筋コンクリート造2階建
建物面積（合計）	1,715.49 m ²
博物館建設費	36,000万円
資金内訳	北海道費補助 5,000万円
	白老町費補助 5,000万円
	財団調達 26,000万円（借入金を含む）
館長	牧野正典
学芸員	6名

収蔵資料

アイヌ民具資料総数	5,278
北方民族資料	234
アイヌ絵	110
文献資料	約 7,000
映像資料	約 700
音声資料	約 500
写真資料	整理中
展示資料	約 800
復元家屋等	15
飼育動物	9
アイヌ有用植物（栽培）	約 70 種

企画展・特別展等

◎企画展

第1回 「アイヌのおまじない」	昭和 59 年 7 月 22 日～8 月 31 日
第2回 「北方民族展」	昭和 60 年 7 月 5 日～8 月 31 日
第3回 「東北地方とアイヌ文化」	昭和 61 年 7 月 15 日～8 月 31 日
第4回 「ソビエト連邦極東少数民族展」	昭和 62 年 7 月 15 日～8 月 31 日
第5回 「近代白老アイヌのあゆみ」	昭和 63 年 7 月 15 日～8 月 31 日
第6回 「北方圏の人々」	平成 1 年 8 月 15 日～9 月 30 日
第7回 「八重山展～石垣島のまつりと文化～」	平成 2 年 8 月 5 日～9 月 5 日
第8回 「アイヌの衣服文化」	平成 3 年 9 月 1 日～9 月 30 日
第9回 「亮昌寺資料展」	平成 5 年 7 月 24 日～8 月 29 日
第10回 「描かれた近世アイヌの風俗」	平成 6 年 7 月 21 日～9 月 3 日
第11回 「樺太アイヌ～児玉コレクション～」	平成 8 年 9 月 1 日～10 月 15 日
第12回 「絵画にみるアイヌの風俗」	平成 15 年 8 月 1 日～9 月 2 日
第13回 「北方民族の工芸」	平成 15 年 9 月 6 日～11 月 9 日
第14回 「西平ウメとトンコリ」	平成 17 年 10 月 29 日～平成 18 年 1 月 23 日
第15回 「アイヌ語地名を歩く～山田秀三の地名研究から～」	平成 19 年 8 月 18 日～9 月 17 日
北海道立アイヌ民族文化研究センターと共催	
第16回 「絵葉書の中のアイヌ」	平成 19 年 11 月 23 日～平成 20 年 2 月 18 日

第17回「アコラシノッ（アイヌの芸能）」

平成21年11月28日～1月24日

◎特別展

第1回「北方民族の詩」

平成5年9月5日～9月19日

（北海道北方博物館交流協会と共催）

第2回「アイヌの装い・美-土佐林コレクションの世界」平成10年2月1日～2月22日

（財）アイヌ文化振興・研究推進機構と共催

第3回「テケカラペ-女のわざ-ドイツコレクションから」平成11年1月31日～3月10日

（財）アイヌ文化振興・研究推進機構と共催

第4回「スコルト・サーミの世界」

平成12年4月28日～7月31日

（フィンランド国立サーミ博物館の協力で実施）

第5回「魚は山で獲る-シラオイコタンの漁撈文化」平成19年9月22日～11月18日

第6回「タマサイ～連なるかたち・連なる想い」

平成21年1月31日～3月22日

◎テーマ展

第1回「アイヌの儀礼具-イクパスイを中心に」

平成14年7月1日～9月30日

第2回「アイヌの編み文様-エムシアッを中心に」

平成14年10月5日～1月28日

第3回「ポロトコタン冬のくらし」

平成15年2月8日～9日

第4回「まちのアイヌ工芸展」

平成15年2月8日～3月31日

第5回「こどもアイヌ語教室作品展」

平成21年9月25日～10月31日

◎写真展

「赤坂友昭写真展 [The Myth -神話の記憶-]」

平成21年10月3日～11月8日

主な調査・研究・文化伝承事業、刊行物一覧

◎調査事業

・聞き取り調査 アイヌの古老よりアイヌの口承文芸、信仰、生活習慣などについて聞き取る。

（テープに保存。『伝承記録』シリーズとして続刊中） 保存テープ数 520本

話者 栃木政吉（千歳） 山川 弘（帯広） 織田ステノ（静内）

葛野辰次郎（静内） 日川善次郎（屈斜路湖）

川上マツ子（平取） 野本亀雄（白老） 松永たけ（白老）

伊藤年吉（白老） 田畑 アキ（白老） 西島テル（平取）

川上シン（平取） 新井田セイノ（鶴川） ……他

- ・チャシ分布調査
- ・東北北部のアイヌ文化調査
- ・子どもゆめ基金「アイヌ民族博物館デジタルアーカイブスー祖父母の物語を子どもたちへー」
（平成19年度／平成20年度）

◎研究事業

- ・在ヨーロッパアイヌ民族資料の調査研究（昭和60年）
- ・共同研究会（スルムンクル文化の研究）（昭和60年～）
- ・アイヌ民族資料の国際分布に関するシンポジウム（昭和60年）
- ・アイヌの衣服文化シンポジウム（平成3年）
- ・アイヌの住居チセに関するシンポジウム（平成8年度）
- ・文部科学研究「ロシア、アイヌ資料の総合調査研究」（平成13年度）
- ・文部科学研究「海外アイヌ資料に基づくアイヌ文化の地域差・時代差に関する研究」（平成13～15年度）
- ・文部科学研究「観光開発と文化表象との関係調査-オーストラリア博物館・美術館における先住民の展示について-」（平成16年度）
- ・文部科学研究「北海道内の主要アイヌ資料の再検討」（平成17～19年度）
- ・トンコリを中心とした西平ウメの伝承及びトンコリの総合的研究（平成17年度）
- ・白老アイヌの板綴り型漁船を用いた漁労活動の調査研究（平成19年度）

◎文化普及事業

- ・アイヌ文化セミナー ・講演会 ・アイヌ文化教室 ・自然観察会、見学会等 ・体験学習

◎主な国際交流事業

- 昭和61年6月 フィンランド国イナリ州サーミ博物館と姉妹博物館提携
- 昭和62年7月 「ソビエト連邦極東少数民族展」開催にあたり、ハバロフスク州立博物館、ユジノサハリンスク郷土博物館より展示資料を借用。
- 昭和63年3月 フィンランド、スウェーデンの各都市において、アイヌ古式舞踊公演並びに民族資料展示
- 平成1年9月 白老町にて開催された「北方民族国際フェスティバル」に参加
- 平成5年1月 サハリンのニヴフ族を当館に招待
- 平成5年4月 当館職員2名、サハリン州立博物館、ノグリキ町博物館を訪問
- 平成5年8月 サハリン州立博物館、同ノグリキ町博物館と博物館交流に関する覚書締結
- 平成6年4月 フィンランド国ラップランド大学附属北極圏センターにて「アイヌ民族文化

	特別展」を開催（9月まで）
平成6年9月	白老町にて開催された「先住民国際フェスティバル」に参加
平成7年2月	イギリス大英博物館、ロンドン大学、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学にてアイヌ古式舞踊公演
平成7年9月	フィンランド民族舞踊組織「リンパレンミ」を当館に招待し、「北欧文化の集いーリンパレンミ・歌と踊りの夕べー」を開催
平成8年6月	フィンランドで開催された「第24回国際民族芸能・舞踊の祭典」、及びデンマーク国立博物館において古式舞踊公演、サーミ民族博物館訪問
平成9年12月	台湾行政院原住民委員会の招待により「行政院原住民委員会設立2周年記念式典」に参席
平成11年10月	ドイツ伝統音楽祭「北の声ーシャーマンのルート」舞踊公演に出演
平成11年10月	白老町にて開催された「先住民国際フェスティバル」に参加
平成12年4月	「スコルトサーミの世界」展開催
平成12年6月	台湾行政院原住民委員会訪問
平成12年10月	台湾パイワン族一行が来館
平成12年10月	ロシア・ハンティ族一行が来館
平成12年11月	台湾屏東県獅子郷楓林村を当館役職員12名が表敬訪問
平成13年5月	カナダ・ヌナブト準州から20名のイヌイト青少年が来館、交流
平成14年11月	カナダ・スコーミッシュ族12名来館
平成14年12月	台湾・ブヌン族来館
平成16年5月	フィンランド・サーミ博物館「アイヌー祈りの世界」協力
平成18年11月	セトウ民族来館・文化交流
平成20年2月	サーミ・マオリ来館・文化交流

◎主な儀式伝承事業

・イオマンテ（熊の霊送りの儀式）の実施

昭和52年2月	栃木政吉翁を祭主を実施
昭和53年2月	栃木政吉翁を祭主を実施
昭和55年2月	栃木政吉翁を祭主を実施
平成元年1月	日川善次郎翁を祭主を実施
平成2年2月	日川善次郎翁を祭主を実施
平成6年3月	橋根義春翁を祭主を実施
平成8年3月	橋根義春翁を祭主を実施
平成11年6月	山丸郁夫職員を祭主を実施
平成21年1月	山丸郁夫職員を祭主を実施

- ・コタンノミ（集落の大祭）
平成14年5月、10月〜以後、春秋の年二回開催
- ・イワッテ（物神の霊送りの儀式）の実施
平成4年11月、平成7年9月、平成9年5月
- ・イチャラパ（先祖供養祭）の実施
昭和52年より毎年
- ・ペッカムイノミ（初鮭を迎える儀式）の実施
毎年秋に実施
- ・チナサンケ（舟おろしの儀式）の実施
昭和61年6月、平成4年9月、平成9年9月、平成16年9月、平成19年9月
- ・伝統漁具マレクを用いた鮭の捕獲
- ・アイヌ民具製作
- ・丸木舟製作

◎主な古式舞踊公演（白老民族芸能保存会との共演も含む）

- 昭和60年2月 北海道アイヌ古式舞踊鑑賞会（札幌市）
- 昭和60年7月 つくば万国博覧会「日本の祭り」（つくば市）
- 昭和62年9月 第5回アジア伝統芸能の交流「アジアの神・舞・歌」（東京）
- 昭和62年12月 民音芸能特選「ユーカラの世界・北海道の詩」（東京）
- 昭和63年3月 北欧2カ国伝統芸能公演（フィンランド、スウェーデン）
- 平成元年3月 第1回アイヌ民族文化祭-ヌヤン・ヌカラン・ピラサレヤン-（札幌市）
※以後、平成7年の第7回まで毎年参加。
- 平成元年4月 アジア太平洋博覧会「日本のまつり」（福岡市）
- 平成2年7月 花の万博 EXPO'90「北海道の日」公演（大阪市）
- 平成2年12月 第3回サントピア沖縄「杜の賑わい祭りイン八重山'90」（石垣市）
- 平成3年9月 第15回日本民謡まつり「アジア・太平洋うたとおどりの祭典」（東京都）
- 平成5年9月 第35回関東ブロック民俗芸能大会（水戸市）
- 平成5年9月 国際先住民年ウィークイン北海道「記念シンポジウム」（札幌市）
- 平成5年10月 アイフォニック地球音楽シリーズ18「アイヌ古式舞踊」（伊丹市）
- 平成7年2月 イギリス公演（大英博物館人類博物館、ロンドン大学、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学）
- 平成8年6月 フィンランド公演「第24回国際民俗芸能・舞踊の祭典-ユタヤイセット」
- 平成8年6月 デンマーク国立博物館における公演
- 平成11年10月 ドイツ公演「北方民族芸能祭」（ベルリン、ボン）
- 平成12年8月 西暦2000年世界民族芸能際（堺市）

平成 12 年 9 月	アイヌ文化フェスティバル古式舞踊参加（名古屋市）
平成 12 年 10 月	えぞミレニアム国際民俗芸能祭参加（札幌市）
平成 13 年 2 月	武四郎祭り出演（三重県三雲市）
平成 16 年 3 月	天皇古希奉祝行事・御前公演（東京）
平成 17 年 2 月	文化庁主催国際民俗芸能フェスティバル（東京）
平成 18 年 2 月	内閣府主催「首里城花祭り」出演（沖縄県宜野湾市）
平成 19 年 6 月	全国植樹祭（苫小牧市）
平成 21 年 8 月	中国瀋陽旅遊祭（中華人民共和国瀋陽市、上海市）
平成 22 年 5 月	韓国ハイソウルフェスティバル（韓国ソウル市）
平成 15 年ー	アイヌ民族博物館夜間特別公演「ポロトコタンの夜」（毎年夏に実施）

◎刊行物一覧

図録・資料目録

「北方民族展」図録	昭和 60 年
「東北地方とアイヌ文化展」図録	昭和 61 年
「ソビエト連邦極東少数民族展」図録	昭和 62 年
「シラオイコタン-木下清蔵遺作写真集」	昭和 63 年
「児玉資料目録」 I	平成元年
「児玉資料目録」 II	平成 3 年
「アイヌの衣服文化-着物の地方的特色について」展図録	平成 3 年
「アイヌの衣服文化」	平成 4 年（平成 13 年）
「田中忠三郎コレクション目録」	平成 4 年
「亮昌寺資料目録」	平成 5 年
「描かれた近世アイヌの風俗」図録	平成 6 年
「樺太アイヌ」展図録	平成 8 年
「西平ウメとトンコリ」	平成 18 年

伝承記録

1 「山川弘の伝承」	平成 6 年
2 「川上シンの伝承」	平成 7 年
3 「上田トシのウエペケレ」（CD 付）	平成 9 年
4 「川上まつ子の伝承」植物編	平成 11 年
5 「虎尾ハルの伝承 鳥」（CD 付）	平成 13 年
6 「川上まつ子の伝承 植物編 2」	平成 14 年
7 「葛野辰次郎の伝承」（CD、DVD 付）	平成 14 年

伝承事業報告書

「イオマンテ-熊の霊送り-報告書」	平成 2 年
「イオマンテ-熊の霊送り-報告書」 II	平成 3 年
「ポロチセの建築儀礼」	平成 12 年
2 「イオマンテ 日川善次郎翁の指導による」	平成 15 年

入門・概説書

アイヌ民族博物館パンフレット	昭和 59 年
「アイヌ文化の基礎知識」	昭和 62 年（平成 5 年）
アイヌの歴史と文化《韓国語版》	平成 8 年
アイヌの歴史と文化《中国語版》	平成 8 年
アイヌの歴史と文化《改訂版》	平成 8 年（平成 14 年）
アイヌの歴史と文化《点字版》	平成 17 年

アイヌと自然シリーズ

第 1 集「アイヌと野鳥」	昭和 61 年
第 2 集「アイヌと植物《食用編》」	平成元年
第 3 集「アイヌと植物《樹木編》」	平成 5 年（平成 16 年）
第 4 集「アイヌと植物《薬草編》」	平成 16 年

研究報告

「アイヌ民族博物館研究報告」創刊号	昭和 62 年
「アイヌ民族博物館研究報告」第 2 号	平成元年
「アイヌ民族博物館研究報告」第 3 号	平成元年
「アイヌ民族博物館研究報告」第 4 号	平成 6 年
「アイヌ民族博物館研究報告」第 5 号	平成 8 年
「アイヌ民族博物館研究報告」第 6 号	平成 10 年
「アイヌ民族博物館研究報告」第 7 号	平成 13 年
「アイヌ民族博物館研究報告」第 8 号	平成 16 年
「アイヌ民族博物館研究報告」第 9 号	平成 18 年

単行本

アイヌ古式舞踊	昭和 59 年
絵本「ポロシルンカムイになった少年」	昭和 61 年（平成 14 年）
満岡伸一著「アイヌの足跡」第 8 版	昭和 62 年
財団設立 20 周年記念誌「二十年の歩み」	平成 8 年
満岡伸一著「アイヌの足跡」第 9 版	平成 15 年
まんがでウエペケレ（昔話）「カンナカムイトゥレシ（雷神の妹）」	平成 15 年
まんがアイヌ昔話「雷神の妹」	平成 15 年

研究書

シンポジウム「アイヌの衣服文化」	平成 6 年
フォスコ・マライニ著「アイヌのイクパスイ」	平成 6 年
シンポジウム録「アイヌのすまいチセを考える」	平成 10 年
齋藤亜三子著「アイヌ民族のガラス玉に関する考古学的研究」	平成 15 年

主な受託事業実績

平成 15 年度

- ・アイヌ文化伝承解説員養成事業（白老町受託＝緊急雇用対策事業）
- ・金色の家並み伝承事業（〃）
- ・白老地方の伝統的衣服「ルウンペ」伝承事業（〃）
- ・アイヌ文化伝承保存事業（〃）

平成 16 年度

- ・アイヌ文化振興にかかる総合的人材育成事業（白老町受託＝緊急雇用対策事業）
- ・アイヌ文化伝承保存事業（〃）
- ・地域提案型雇用創造事業（パッケージ事業）「アイヌ文化を核としたカルチャーツーリズム担い手育成事業」（広域雇用創出クラスター担い手育成事業推進協議会受託）

平成 17 年度

- ・地域提案型雇用創造事業（パッケージ事業）「アイヌ文化を核としたカルチャーツーリズム担い手育成事業」（広域雇用創出クラスター担い手育成事業推進協議会受託）

平成 18 年度

- ・イオル再生事業森野地区自然素材等栽培事業（アイヌ文化振興財団受託）
- ・地域提案型雇用創造事業（パッケージ事業）「アイヌ文化を核としたカルチャーツーリズム担い手育成事業」（広域雇用創出クラスター担い手育成事業推進協議会受託）

平成 19 年度

- ・イオル再生事業森野地区自然素材等栽培事業（財アイヌ文化振興・研究推進機構受託）
- ・イオル体験交流事業（〃）
- ・イオル伝統ライブラリー事業（〃）
- ・ポロト公衆トイレ管理事業（白老町受託）
- ・ポロト駐車場管理事業（〃）

平成 20 年度

- ・イオル再生事業森野地区自然素材等栽培事業（財アイヌ文化振興・研究推進機構受託）
- ・イオル体験交流事業（〃）

- ・イオル伝承者育成事業（〃）
- ・イオルチセ建設事業（〃）
- ・ポロト駐車場管理事業（白老町受託）
- ・ポロト公衆トイレ管理事業（〃）

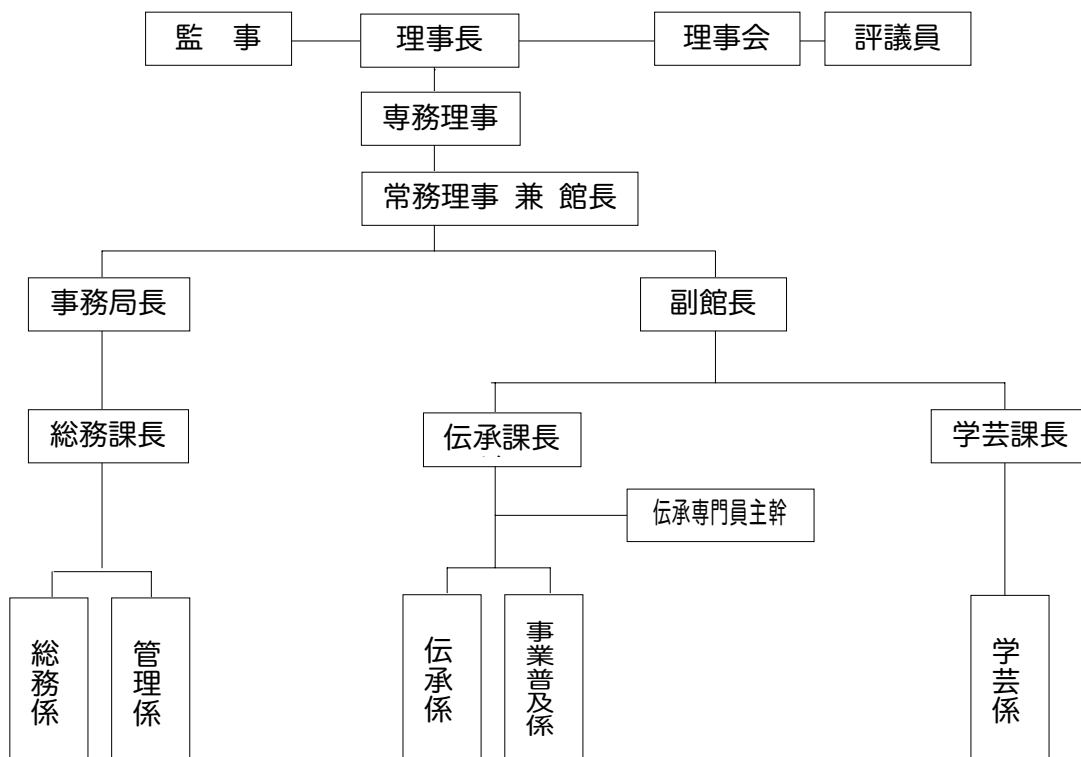
平成 21 年度

- ・イオル再生事業森野地区自然素材等栽培事業（財アイヌ文化振興・研究推進機構受託）
- ・イオル伝承者育成事業（〃）
- ・イオル体験指導員育成事業（〃）
- ・イオルチセ建設等事業（〃）
- ・カヤの分布調査事業（〃）
- ・アイヌ文化の伝承・保存・調査研究（ふるさと雇用再生特別対策推進事業＝白老町受託）
- ・アイヌの智慧でシラオイ再生プロジェクト（地方の元気再生事業＝白老町受託）
- ・ポロト駐車場管理事業（白老町受託）
- ・ポロト公衆トイレ管理事業（〃）

平成 22 年度

- ・イオル再生事業森野地区自然素材等栽培事業（財アイヌ文化振興・研究推進機構受託）
- ・イオル伝承者育成事業（〃）
- ・アイヌ文化の伝承・保存・調査研究（ふるさと雇用再生特別対策推進事業＝白老町受託）
- ・しらおい観光コンシェルジュ担い手育成事業（緊急雇用創出推進事業＝白老町委託）
- ・アイヌ文化海外発信事業（〃）
- ・アイヌの智慧でシラオイ再生プロジェクト（地方の元気再生事業＝白老町受託）
- ・ポロト駐車場管理事業（白老町受託）
- ・ポロト公衆トイレ管理事業（〃）

組織



役員		評議員		主な職員		
理事長	野本 勝信	評議員	伊東 稔	館長	牧野 正典	常務理事兼務
専務理事	野村 茂樹	評議員	田中 幹夫	副館長	村木 美幸	学芸員
常務理事	牧野 正典	評議員	森竹春次郎	事務局長	石井 和彦	総務課長事務取扱。白老町派遣
理事	中村 政信	評議員	笠谷 弘志	総務係長	上河 由紀	
理事	加藤 忠	評議員	田村 文一	管理係長	吉田 賢	
理事	上野 正信	評議員	塚見 紀雄	伝承課長	山丸 郁夫	
理事	小川 利孝	評議員	畑中 雅幸	伝承係長	野本 三治	
理事	中出 正	評議員	平野 弘	事業普及係長	岡田 恵介	
理事	壬生龍之介	評議員	岩間 隆一	伝承専門員・主幹	新井田幹夫	
理事	長谷川邦彦	評議員	筒井 達雄	学芸課長	野本 正博	学芸係長事務取扱
監事	中山 繁	評議員	木村 安博	学芸員	木田 瑞恵	
監事	太田 實	評議員	前田 博之	特別研究員	児玉 マリ	
		評議員	花岡ケイ子	客員研究員	本田 優子	札幌大学文化学部長・教授
				客員研究員	北原次郎太	北海道大学准教授
				特別研究員	朴 炳宰	

入場者の推移

◎財団設立以来の入場者数

(単位：人)

年度	入場者数	年度	入場者数
昭和 51 (1976) 年度	623, 559	5 (1993) 年度	650, 356
52 (1977) 年度	570, 954	6 (1994) 年度	577, 105
53 (1978) 年度	599, 327	7 (1995) 年度	507, 068
54 (1979) 年度	634, 788	8 (1996) 年度	512, 202
55 (1980) 年度	645, 052	9 (1997) 年度	474, 821
56 (1981) 年度	616, 374	10 (1998) 年度	407, 288
57 (1982) 年度	579, 551	11 (1999) 年度	406, 110
58 (1983) 年度	548, 391	12 (2000) 年度	318, 392
59 (1984) 年度	602, 166	13 (2001) 年度	295, 009
60 (1985) 年度	579, 597	14 (2002) 年度	264, 478
61 (1986) 年度	613, 999	15 (2003) 年度	284, 275
62 (1987) 年度	707, 064	16 (2004) 年度	265, 134
63 (1988) 年度	733, 587	17 (2005) 年度	230, 938
平成元 (1989) 年度	806, 486	18 (2006) 年度	246, 963
2 (1990) 年度	840, 116	19 (2007) 年度	256, 240
3 (1991) 年度	871, 621	20 (2008) 年度	214, 026
4 (1992) 年度	772, 682	21 (2009) 年度	195, 383
		合計	17, 451, 102

◎入場者の構成 (平成 21 年度)

	区分	入場者数	比率
団体	団体大人	84, 562	43. 3%
	団体高校生	48, 564	24. 9%
	団体中学生	7, 360	3. 8%
	団体小学生	7, 983	4. 1%
	団体計	148, 469	76. 0%
個人	個人大人	43, 016	22. 0%
	個人高校生	579	0. 3%
	個人中学生	786	0. 4%
	個人小学生	2, 533	1. 3%
	個人計	46, 914	24. 0%
合計		195, 383	100. 0%

